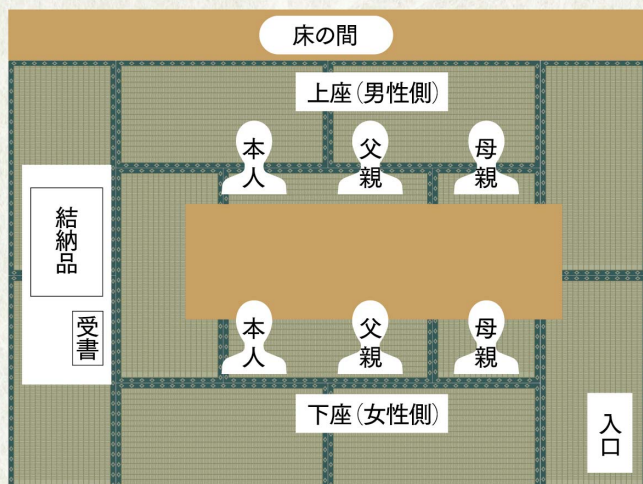


ご結納の流れ

1. 結納品の飾りつけ

男性側が先にお部屋にお入りいただき、結納品のセッティングをしていただきます。

結納品の飾る場所と結納式の時の座り方



こちらのお部屋は女性側のお家とみなしますので、上座に男性側、下座に女性側に座っていただきます。

2. 結納式

女性側がお着きになったら、裏面の式次第にそって、結納式を行います。

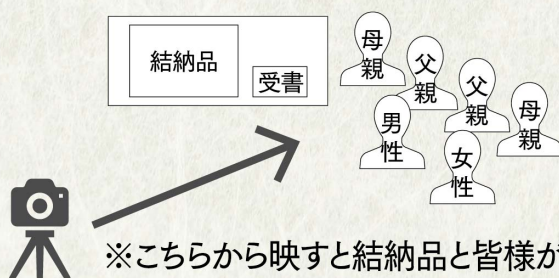
3. 桜茶

桜茶をご用意いたしますので、お召し上がりください。

桜茶は縁起が良く、飲み干していただくのが、この婚儀に異存はありません、という意思表示になります。

4. 記念撮影

結納品とご一緒に記念撮影をさせていただきます。皆様で撮られる時は、遠慮なくスタッフにお声かけください。



お二人は前に座っていただき、後ろにご両親に立っていただきます。真ん中が背が高くなるようにするとバランスがよいです。

※こちらから映すと結納品と皆様がきれいに撮れます。

記念撮影をされている間にお食事のご用意をさせていただきます。

5. 祝宴

女性の父親

「本日はありがとうございました。ほんの少しですが、お祝いのお膳をご用意しましたので、時間の許す限り、どうぞゆっくりお召し上がりください。」

2時間くらいを目処にお開きとなります。それまで、ごゆっくりお過ごしください。

結納品のお片付けはお手伝いさせていただきます。お声かけください。

式次第

開宴のご挨拶

男性の父親

「この度は、〇〇様（女性）と息子〇〇（男性）に、よいご縁を頂きまして、誠にありがとうございます。本日はお日柄もよろしいので、婚約の印として、結納を納めさせていただきます。どうぞ幾久しくお納めください。」

本人（男性）

目録を手に取り、時計回りに2回回して向きを変え、女性の前に置く。

本人（女性）

目録に目を通し、父親・母親にもみせる。

女性の父親

「ありがとうございます。幾久しくお受けいたします。」

受書がある場合

女性の父親

「受書でございます。幾久しくお納めください。」

本人（女性）

受書を手に取り、時計回りに2回回して向きを変え、男性の前に置く。

本人（男性）

受書に目を通し、父親・母親にもみせる。

男性の父親

「ありがとうございます。幾久しくお受け致します。」

記念品がある場合

本人（男性）

「私からの婚約記念品として〇〇（婚約指輪など）を贈ります。」
指輪の場合は、女性の左手の薬指にはめる。

本人（女性）

「ありがとうございます。幾久しくお受けいたします。」
お返しの品があれば
「私からの婚約記念品として〇〇（時計やスーツなど）を贈ります。」
男性にお渡しする。
当日用意が間に合わない場合は
「こちらからの記念品につきましては、後日納めさせていただきます。」

本人（男性）

「ありがとうございます。幾久しくお受けいたします。」

締めのご挨拶

男性の父親

「本日はどうもありがとうございました。おかげさまで、無事に結納を納める事が出来ました。今後とも、末永くよろしくお願いいたします。」

女性の父親

「こちらこそありがとうございました。今後とも、末永くよろしくお願いいたします。」